

**今日のトピック** 米国株式市場は予想株価収益率が低下  
好調な業績を背景に大きく崩れる可能性は低い

**ポイント1** リスクオフで米株下落  
VIX指数が急上昇

- 先週は、北朝鮮の核・ミサイル開発を巡って米国と北朝鮮の間で威嚇の応酬が続き、世界の金融市場でリスクオフの動きが強まりました。
- 米国では、S&P500種指数オプションを基に算出されるVIX指数が9.93%から16.04%へ急騰し、昨年11月の米大統領選挙以来となる予想変動率の高さとなりました。8月11日の米国株式市場は、S&P500種指数が前週比▲1.4%、ダウ工業株30種平均指数が同▲1.1%、ナスダック総合指数が同▲1.5%の下落となりました。

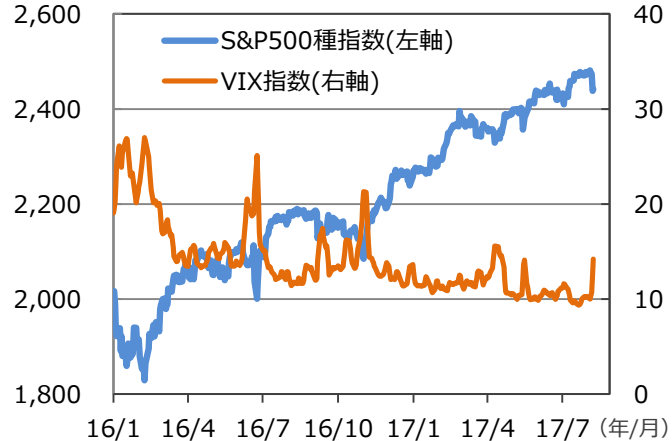
**ポイント2** 予想株価収益率は低下  
1株当たり予想利益は底堅い

- 8月11日の予想株価収益率は17.49倍と7月25日の17.87倍から低下しました。1株当たり予想利益は引き続き堅調に推移しており、株式市場が大きく崩れる可能性は低いと考えられます。引き続き地政学リスクと企業業績の見通しが注目されます。

**今後の展開** いずれ企業業績に注目  
短期的には地政学リスクを意識

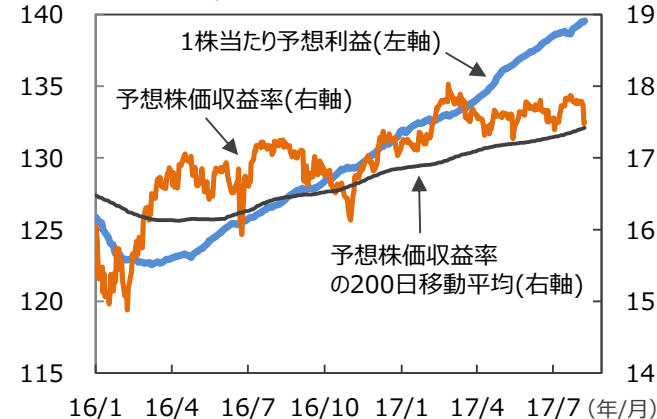
- 北朝鮮では、8月15日の祖国開放記念日、25日に先軍節、9月9日に建国記念日などの重要行事が控えており、当面地政学リスクが意識される状況となりそうです。ただ、市場には潤沢な流動性が溢れていること、米国の企業業績が堅調なことなどから、市場の混乱が長期化する可能性は低いと思われます。
- トムソンロイター（8月11日）によれば、4-6月期の企業業績は前年同期比+12.0%と好調です。7-9月期は同+6.8%に低下しますが、10-12月期は同+12.2%と再び2桁台の伸びとなる見通しです。

【米国株価指数とVIX指数の推移】



(注1) データは2016年1月4日～2017年8月11日。  
(注2) VIX指数：恐怖指数 (Volatility Index) シカゴ・オプション取引所 (CBOE) がS&P500種指数を対象とするオプション取引の値動きを算出。投資家心理を示す指標として使われており、数値が高いほど投資家が相場に不透明感をもっているとされる。図中のVIX指数は3日移動平均。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【1株当たり予想利益と予想株価収益率】



(注1) データは2016年1月4日～2017年8月11日。  
(注2) 1株当たり予想利益は12カ月先予想 (Bloomberg L.P.予想)。  
予想株価収益率 = 株価 ÷ 1株当たり予想利益 (倍)。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック!** 2017年8月 7日 米景気の持続的な拡大を示す雇用統計 (2017年7月)  
2017年7月31日 米国のGDP成長率 (2017年4-6月期速報値)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。